

## 第7回

# ひとひと 女と男の一行詩

男女共同参画社会の実現に向けて、身のまわりで感じる「男女平等への想い」や「男女差別」などを詠んだ一行詩。旧小野田市ではじまったこの取り組みも今年で第7回を数えるまでになりました。今回も、全国の、14歳から82歳までの幅広い層の方から4,764点の作品が寄せられました。ご応募いただいたみなさん、ありがとうございました。多くの力作の中から入賞作品が決まりましたので、ご紹介します（敬称略）。表彰は、10月22日、大阪府で男性家庭科教諭として教壇に立つ<sup>みなみの</sup>南野忠晴氏を講師に迎えて開催される男女共同参画推進月間講演会に先立ち、行われます。（詳しくは最終ページをご覧ください）

## 最優秀賞

幸せにすると言ったのに、幸せになったのは俺の方だ。

東京都板橋区 津村 信之

ことばを口にしてみると、何とも言えぬ深々とした幸福感と、ちょっとした気恥ずかしさ、そして、反省と感謝が、また新しいきずなを紡いでくれそうな予感を与えてくれます。【審査委員長 村中李衣さん（児童文学作家）選評より】

## 優秀賞

エプロンが行ったり来たり新所帯。	東京都豊島区	直地 俊一
曇りガラス ふいていますかパートナー。	大分県大分市	中村 喜枝子

## 入選

支え合う あなたがきらり わたしがきらり。	川崎市川崎区	和泉まさ江
ケンカで知るは元気の証 病気で知るは愛の証。	沖縄県宜野湾市	金城 敏枝
喜び、悲しみ、幸せ、不安も全部 半分個。	千葉市美浜区	渋谷 彩
みんなでおかたづけ 園児の瞳に学ぶもの。	大分県佐伯市	野々下 留美
色つきメガネをかけない心が、 美しい人のおしゃれです。	東京都目黒区	伊藤 つぐみ
黙って受け入れるんじゃなく、 ちゃんとぶつけて認めあおうよ。	京都府八幡市	山本 陽子
あってもいい差 なくてもいい差に泣き笑い。	京都府亀岡市	吉村 智子

## 特別賞

「女だから」って関係ない！私にだってできるから！！	小野田中学校	藤高 真紀
男女平等 謳われて 肩身の狭い 男達。	釧路湖陵高校	橋本 大輔